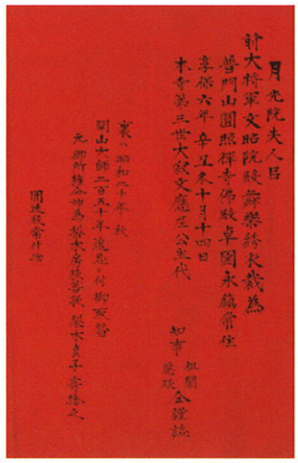
法被（はっぴ）　山形雲版模様厚板裂（やまがたうんばんもようあついたぎれ）

唐織
縦一七五・六cm　横二〇五・五cm
享保六年（一七二一）旧銘、昭和二〇年（一九四五）修理銘
奈良市・圓照寺

両後身頃・両袖・襟もしくは両衽の裂を用いて仕立てている。もとは「前大将軍文昭院殿」すなわち徳川第六代将軍家宣（一六六二～一七一二年）が着用した能装束の厚板であった。厚板とは、男役用の着付で、老若貴賤から荒神鬼畜まで幅ひろく用いられる装束である。本作では、地組織がほとんど隠れるぐらい絵緯で山形に雲版の模様を織りあらわしている。雲版は寺院で合図に使用される梵音具である。通常の小袖や帷子などにはほとんど見られないモティーフであるが、厚板にはしばしば見られ、代表的なモティーフの一つとなっている。なお、本作についてはモニカ・ベーテ氏のコラム（186頁）を参照されたい。

■銘文
月光院夫人曰
前大将軍文昭院殿舞楽綉衣裁為
普門山圓照禅寺佛殿卓圍永鎮常住
享保六年辛丑冬十月十四日
本寺第三世大寂文應尼公主代　知事 祖聞
慈眼 全謹誌
裏ハ昭和二十年　秋
開山大師二百五十年遠忌ニ付御取替
元御所権命姉為梨木房枝菩提　梨木貞子　寄捨之
圓通殿常什物



■技法分析
［織］
織名称：経綾地絵緯針とじ錦
地組織：経三枚綾（Z）
地経糸：絹（薄茶）、六〇本／cm
地緯糸：絹（薄茶と緑の絣）、三〇～三二越／cm
文組織：絵緯搦文、針とじ
絵緯浮文
文　様：文丈不定、
文窠間なし（織幅一杯）
絵緯糸：絹（紅・茶・薄茶・薄黄・萌黄・紺・藍・浅葱・紫・白）、半越
産　地：日本

①

②

③

④

■技法分析

【花立涌牡丹藤菊模様小袖裂】――①

綸子地　刺繍

［織］

織名称：繻子地繻子文綾

地組織：経五枚繻子（二飛）

地経糸：絹（白）、一四〇本／cm

地緯糸：絹（白）、二八～三三越／cm

文組織：緯五枚繻子

文　様：竹、文丈二七・二～二八・二cm、文窠間不明

産　地：日本

［刺繍］

絹　糸：平糸（緑・鶸・紫）

諸撚糸（黒）

箔　糸：撚金糸（Z撚、箔幅〇・六～〇・七㎜、紙胎、朱漆貼、白木綿糸二本Z撚芯）

繍　法：平繍・割繍・纏繍・駒繍・手綱掛繍

【水流竹蛍模様小袖裂】――②

縮緬（二越）地　絞り染・鹿の子絞り・刺繍

［織］

織名称：無文平

地組織：平

地経糸：絹（紅）、五六本／cm

地緯糸：絹（紅、強S撚・強Z撚、二越交替）、二六越／cm

産　地：日本か

［刺繍］

絹　糸：平糸（紅・緑・鶸・紫・黒）

箔　糸：撚金糸（Z撚、箔幅〇・七五㎜、紙胎、朱漆貼、白木綿糸二本Z撚芯）

繍　法：平繍・割繍・纏繍・駒繍

【鶏竹蔦模様小袖裂】――③

紋縮緬（二越）地　刺繍

［織］

織名称：平地変則繻子文綾

地組織：平

地経糸：絹（浅葱）、六八本／cm

地緯糸：絹（浅葱、強S撚・強Z撚、二越交替）、三〇～三四越／cm

文組織：経六枚繻子（文とじ＝一・四三・六・五二）

文　様：流水に蝶と葉、文丈四一・〇cm、文窠間不明

産　地：日本

［刺繍］

絹　糸：平糸（紅・薄紅・茶・薄茶・黄茶・紫・黒・白）

箔　糸：撚金糸（Z撚、箔幅〇・六五㎜、紙胎、朱漆貼、薄紅木綿糸二本Z撚芯）

繍　法：平繍・纏繍・駒繍・刺し繍・一針掛繍・平織風の繍

【雪蔦小柴垣模様小袖裂】

紋縮緬（二越）地　刺繍

＊図版91と同じ

【雪景模様小袖裂】――④

縮緬（二越）地　染・型鹿の子・刺繍

［織］

織名称：無文平

地組織：平

地経糸：絹（萌葱）、六二本／cm

地緯糸：絹（萌葱、強S撚・強Z撚、二越交替）、三四～三六越／cm

産　地：日本もしくは中国

［染］

糊　置：片面

地　染：引染

［刺繍］

絹　糸：平糸（紅・緑・紫・黒）

箔　糸：撚金糸（Z撚、箔幅〇・六五～〇・七㎜、紙胎、朱漆貼、黄絹糸二本Z撚芯）

繍　法：平繍・纏繍・駒繍